



2022.4.3

ニリンソウ自生地 保護活動情報

赤塚公園ニリンソウを守る会

akatsukanironso@gmail.com

都立赤塚公園
サービスセンター
03-3938-5715

編集責任：運営サポーター／木村



Since 1982 ニリンソウ保護活動 40周年

赤塚公園ニリンソウを守る会 活動予定

◆2022年のニリンソウ月間◆

4/17（日）までです

◎月間中の土・日 10:00~12:00 大門にてガイド

◎春の野草観察会 月間中の毎月曜日 9:00~12:00
赤塚ため池公園梅林下に集合⇒赤塚城址⇒大門地区

※問合せは左記赤塚公園サービスセンターへ
※いずれも雨天中止 * 予定変更の場合あり

ニリンソウ観察 Day あいにくの雨、でも来訪者多数



4/3時点で八分咲き
天気が良ければ見ごろだった
のだけれど、残念！



昨年のニリンソウは4月第一日曜日にはすでに満開
でした。今年は春になっても「寒の戻り」と「花冷え」が続き、開花が大幅に遅れています。

4/3は朝から冷たい雨。サービスセンターは10:00にガイド活動の中止を決めました。それで

も、ガイドのために立ってくれるボランティア活動者は10
人近く、遠くからわざわざおいでになる来訪者も後を絶た
ず、12:30まで有志での
ガイドを行いました。左写
真のようによく咲いている
群れでは満開。でも、よく
観ると右写真のように2輪
目がまだ蕾の群れも多く、
全体では八分咲でした。





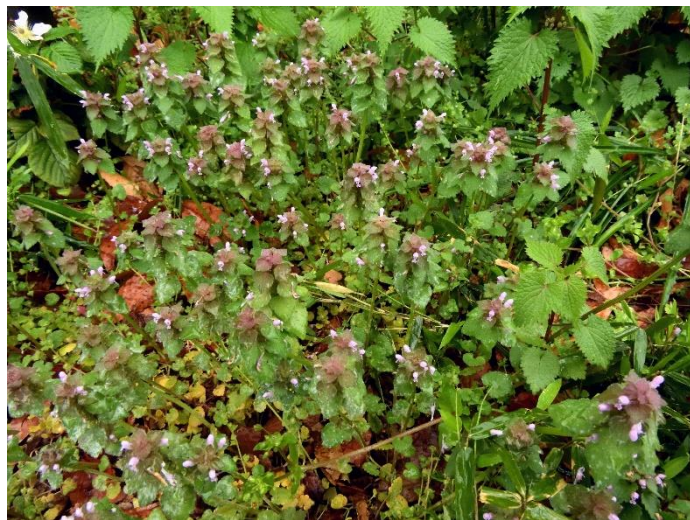
ヤマブキソウも葉を伸ばしている

上の写真はニリンソウがいちばん広がって生きているメインステージ上部の斜面の様子ですが、赤○で囲んだ部分は昨年秋の手入れの際にキチジョウソウを抜き取った跡です。左の写真は3/26時点で、まだ地肌がむき出し。その上に落ち葉が溜まっている状態。それが4/3には草の葉のみどりが増えてきました。これはヤマブキソウの展葉です。ヤマブキソウは東京都の準絶滅危惧種の中でもニリンソウよりも危惧度が高い野草で、とても貴重な野草です。毎年、ニリンソウが満開期を迎えると、入れ替わるように黄色い花を咲かせますが、今年もみられそうです。

なかなか暖かくなならない今年の春ですが、それでも植物は動きを進めています。

オドリコソウが咲きました もう少しでヒメオドリコソウとの揃い咲きが見られます

左=オドリコソウ
右=ヒメオドリコソウ
画面
上の大きな葉
がオドリコソウ



。大門地区には、この2つの仲間が一か所で咲いている場所があります。



←ジロボウエンゴサク ニリンソウより一足早く咲くのですが、4/3ではこの花がようやく満開でした。

その下の写真はニワトコ 花が咲きました。

擬木の向かい側、ロープで囲ってあるエリアには、点々とタチツボスミレが咲いています。あと数年すれば、ここは一面のスミレ畑になるかもしれません。

